

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.80

調査者	井澤 和太、加藤 倫卓、山本 周平
情報ソースの刊行日	2021年6月25日
情報ソースの調査日	2021年6月25日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年6月25日
日本語タイトル	心血管疾患またはその危険因子を有する中等度から重度の COVID19 患者の集中治療の実態—全国コホート研究からの洞察—
情報ソース	Yoshida N, et al. Intensive Care Unit Admission for Moderate-to-Severe COVID-19 Patients With Known Cardiovascular Diseases or Their Risk Factors— Insights From a Nationwide Japanese Cohort Study —Circ Rep, Advance Publication released online June 25, 2021
情報のカテゴリ	その他
発信地域	アジア(日本)
URL	https://www.jstage.jst.go.jp/article/circrep/advpub/0/advpub_CR-21-0066/_article/-char/en
要約	<ul style="list-style-type: none"> 集中治療室(ICU)入室の期間と割合および既存の心血管疾患またはその危険因子(CVDRF)を持つ COVID-19 患者の ICU 使用に影響を与える臨床変数について調査された。 対象は 2020 年 1 月～5 月の間に日本における CLAVIS-COVID 登録システムに登録された CVDRF の COVID-19 患者 693 人である(平均年齢 68.3 歳; 35%女性)。 693 人中 199 人の患者(28.7%)が ICU 管理であった。平均 ICU 滞在期間(LOS)は 19.3 日で院内死亡率と病院 LOS は、ICU は非 ICU グループに比し高値を示した(P<0.001)。ロジスティック回帰分析により、ICU 入室に全身状態の障害(C 反応性タンパク質高値、グラスゴーコマスケールスコア低値、SpO₂、アルブミンレベルなど)、男性およびβ遮断薬使用を反映する臨床変数等が関連していた(P<0.001)。特に、年齢は ICU 入室と逆相関し、特に高齢者で顕著であった(OR 0.97、P=0.0018)。 CVDRF の COVID 患者の約 3 分の 1 は、パンデミックの最初の段階で ICU でのケアを必要とした。 低酸素症や精神状態の変化等の臨床変数を除き、年齢は ICU の使用と逆相関しており、今後、さらなる調査が必要である。